

2月11日の「建国記念の日」は、神話をもとに明治政府が制定し侵略戦争を美化し天皇を賛美する象徴的な日だった戦前の「紀元節」を、1967年から自民党政権が各界の反対を押し切って政令で復活させた日です。

2月11日(金)集会

(金)13時30分～16時^{13時開場}

会場・自治労会館
6Fホール

戦後の日本は、自民党内閣のもとで、東アジアとの関係、とくに歴史認識については繰り返し問題が引き起こされました。しかし、政権交代してから、昨年8月には、植民地支配についての痛切な反省と心からのお詫びを表明する菅首相談話が出されるなど、一定の前進面も生まれました。

他方では、朝鮮半島や尖閣諸島をはじめ、東アジアの緊張状態は強まる一方です。そして、朝鮮学校は高校無償化の適用対象から排除されたままです。そのなかで、本年は中学歴史教科書などの検定が行われます。これらを踏まえ、日本人の歴史認識や人権意識についての問題を象徴する日、2月11日に、東アジアの平和について考える集会を開きます。ぜひともご参加ください。

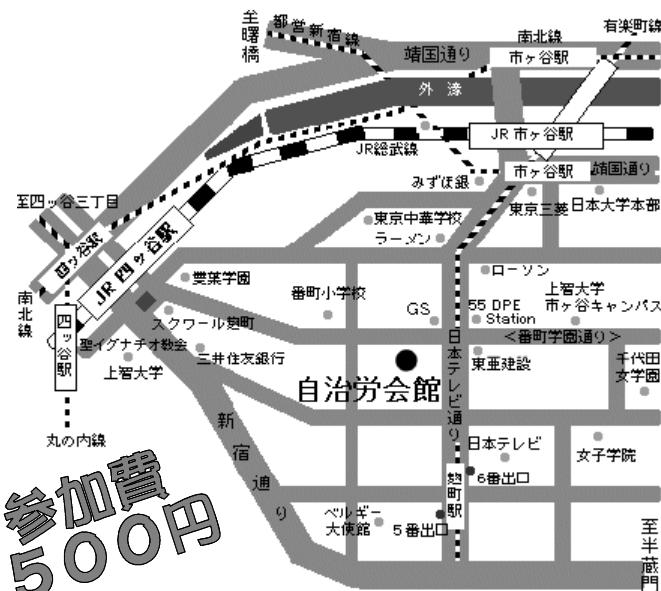
歴史認識と教科書問題

講師・上杉聰さん（大阪市立大学教員）

日本の戦争責任資料センター事務局長。心に刻む会、強制動員真相究明ネット、遺骨問題の解決へ全国連絡会などの中軸として、日本の戦後補償運動をリード。「つくる会」教科書採択を許さないとりくみでも先頭に立つ。著書に「天皇制と部落差別」、「脱ゴーマニズム宣言」など。

朝鮮学校への高校無償化適用を求めて

提起・ 厳 廣子さん（東京朝鮮学校オモニ会連絡会代表）



主催 フォーラム平和・人権・環境

千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館1F Tel03-5289-8222 Fax03-5289-8223

<http://www.peace-forum.com> E-mail:peace-forum@jca.apc.org